

教授 萩原 雄一

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2016. 4～2017. 3	漱石文学の解析において、まったく新しい視点と構図を使って全作品の全解釈に挑み、学会を騒然とさせた論文について、DVDなどビジュアルなマルチメディア機器を使用して解りやすく講義した。
◎作成した教科書・教材		以上の論文が学会・社会でどう評価されているかを10社以上の新聞の書評をコピーして配った。また自身が「愛媛新聞」に寄稿した漱石に関する新発見の記事もコピーして配布した。

<p>◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価</p>		<p>どう評価されているかは直接言われた覚えがないから、不明だ。ただこの法人に就職したときには、「近代文学の研究者」としての評価である。それが今「教養」「全学共通科目」を担当するときに活かしている。しかし、平成29年度から「文芸・ライティングコース」をも受け持つが、文芸で採用されたわけではないので、大学の評価、つまり内部評価がどうなのか心配である。</p>
------------------------------	--	---

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>◎著書 映画で描かれた三島由紀夫、その実像と虚像 憂國</p>	<p>単著</p>	<p>2016. 7. 25</p>	<p>衝撃の「実録映画」大全 (洋泉社)</p>	<p>『憂國』『Mishima : A Life In Four Chapters』『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』の3本の映画を取り上げて、三島由紀夫ワールドの本質に迫った。本のトりに収められた。</p>